

# その行動が未来を変える。

～いじめ・暴力・SNSトラブルを防ぐために～

学校（先生たち）は、暴力やいじめを絶対に許しません。

何か困ったことがあったら、どんな小さなことでも構いませんので、先生に教えてください。

被害にあった人を全力で守ります。また、勇気を出して相談してくれた人も守ります。

安心して話してください。

また、内容が犯罪に関わる場合や、SNS上での深刻なトラブルについては、警察などの関係機関とも連携しながら、被害にあった人を全力で守ります。

## 1. 暴力・いじめは絶対にNG！

- ◆ 人をたたく、けがをさせる
- ◆ 悪口や仲間外れをする
- ◆ 動画を撮影して笑いものにす

これらはすべて正当化されることはありません。

内容によっては、**暴行罪・傷害罪・名誉毀損罪・侮辱罪などの犯罪にあたる場合があります。**

年齢に関係なく、責任が問われることがあります。



## 2. 見ているだけでも関係者です

- ◆ 動画を撮る
- ◆ はやしたてる
- ◆ 「いいね」を押す
- ◆ 拡散する



こうした行動も、被害を広げることに繋がります。

面白がって動画を撮影したり、ひどい言動を応援したりすることは、被害者を深く傷つけ、いじめや暴力をしている人をエスカレートさせることに繋がります。

「自分は直接やっていない」では済まされないどころか、

こうした行為も、**いじめや暴力に加担したと見なされ、責任を問われます。**

### 3. SNSは「消せば終わり」ではありません

SNSは便利で楽しい道具ですが、一度投稿した内容は完全には消えません。投稿した人が削除したとしても、見た人が保存したり、再投稿したりすることがあり、完全に消すことはとても難しいものです。たとえ悪気がなくても、軽い気持ちの投稿が、思いがけず拡散され、相手の人生を大きく傷つけることがあります。

また、SNSでは、うそやデマの情報もあっという間に広がってしまいます。根も葉もないうわさを信じたり、それを拡散したりすることも、誰かを傷つけることにつながります。軽はずみな気持ちで書かれた内容はもちろん、安易に拡散されたデマも、相手の人生を大きく傷つけることがあります。

その投稿を書いた人だけでなく、拡散した人も責任を問われることがあります。

使う前に、

「これは相手を傷つけないか」

「この情報は本当かな？」

「将来の自分が見ても大丈夫か」

と考えることが大切です。



### 4. 困った時は、相談してください

- ◆ 自分が被害を受けている
- ◆ 友達が困っている
- ◆ SNSで不安なことが起きた そのままにしないでください。

学校では、

- ◇ 担任の先生
- ◇ 話しやすい他の先生に相談できます。

直接話すことが難しい場合は、

- ◇ 学校アンケート
- ◇ 「ぽーち」でのSNS相談
- ◇ スクールカウンセラー（小学校は、心の教室相談員）などを利用できます。

相談先がわからない場合は、先生に聞いてください。

いじめをしない、見て見ぬふりをしない、勇気を出して相談する。

こうした一人ひとりの行動が、学校を安心できる場所にし、そして、あなた自身と大切な仲間を守るにつながります。

これからも、みんなで力を出し合い、互いを認め合い、安心できる学校にしていきましょう。

